

◆特集◆ 小・中学校の教育環境の整備 ～学びやのさらなる充実へ向けて～

市内小・中学校（児童生徒数：令和6年12月1日現在、建築年度）

	学校名	児童生徒数	建築年度
小学校（7校）	淳城西	225人	昭和44年
	淳城南	264人	昭和53年
	第四	388人	平成21年※
	第五	136人	平成7年※
	向能代	302人	昭和55年
	浅内	54人	平成17年※
	二ツ井	165人	平成21年※
	計	1,534人	
中学校（6校）	能代第一	130人	昭和48年
	能代第二	259人	昭和61年
	能代東	98人	平成元年
	東雲	171人	平成11年※
	能代南	160人	昭和58年
	二ツ井	119人	昭和46年
	計	937人	

※木造校舎

小・中学校の概要

能代市では、平成31年から2年にかけて、小学校12校のうち7校を2校に（朴瀬小、竹生小、常盤小を廃止し、向能代小に統合、崇徳小、鶴形小を廃止し、第五小に統合）、中学校7校のうち2校を1校に（常盤中を廃止し、東雲中に統合）統廃合しました。

また、本市では木と触れ合い、木のよさを実感する機会を増やし、木材の特性や木材利用がもたらす効果を知ってもらうため、学校に代表される公共施設を可能な限り木造、木質化により整備してきており、第五小（一部鉄筋コンクリート造）、東雲中（同）、浅内小、第四小、二ツ井小は木造校舎となっています。

小・中学校の大規模改修

能代市には現在、小学校7校、中学校6校がありますが、建築から50年以上経過した校舎もあります。市では耐震化など将来にわたって長く使い続けるための物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げることを目的に、平成29年度からエアコンの設置、トイレの洋式化などの整備を行い、教育環境の改善を行っています。

また、以前の改修履歴や校舎の状況等により整備の優先順位を検討して順次、改修に当たっています。校舎の長寿命化や教育環境の改善などの大規模改修は平成31年度から向能代小、令和2年度から淳城南小、4年度から淳城西小と二ツ井中、5年度から第五小の改修が始まり、それぞれ2年をかけて改修が行われました。

6年度は、引き続き第五小（校舎（管理特別教室棟）の屋根・外壁改修、床の改修及び照明器具のLED化、体育館の屋根・外壁改修工事）、能代第二中（校舎の約半分の屋根・外壁改修のほか、照明器具のLED化）、能代東中（体育館の屋根・外壁改修のほか、附属室照明器具のLED化）の3校で大規模改修が行われました。

取材を終えて

今回は主に小・中学校の校舎の改修について取り上げましたが、来年度以降は能代第二中と能代東中、能代南中、能代第一中で校舎の大規模改修が計画され、ほかにも体育館や武道場などの学校施設や、南部・北部・二ツ井共同調理場など教育施設等の改修はまだまだこれからも続きます。

今回の取材を通じ、このまちに育ち学ぶ子供たちに、将来にわたりよりよい学習環境や生活環境を維持・確保するために教育環境の改善が図られていることを改めて知ることができました。

少子化が進む能代市ではありますが、私たち市民の皆さんと子供たちの学びを支え合い、学校教育や教育環境の充実に理解を深めることが大切なことだと強く感じ取材を終えました。

取材：阿部 誠、藤田拓翔、

渡邊正人



設置改修された小・中学校のエアコン、トイレ